

令和2年度 依存症対策全国拠点機関設置運営事業における  
依存症に関する調査研究事業  
「新型コロナウィルス感染症拡大が断酒会員に及ぼす影響に関する緊急調査」報告書

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

## I. 調査の目的・概要

### 1) 調査目的

新型コロナウィルス感染症(COVID-19)の感染拡大による生活の変化が、断酒会<sup>1</sup>に所属する人の飲酒状況、生活習慣や心身の健康状態等に及ぼす影響を把握することを目的に実態調査を実施した。

本研究は、断酒会の全国組織である全日本断酒連盟の協力を得て、厚生労働省補助事業「依存症対策全国拠点機関設置運営事業における依存症に関する調査研究事業」として、国立病院機構久里浜医療センターが実施した。

### 2) 対象・調査時期

本研究では、全国の断酒会会員 6378 名(2020 年4月 1 日時点)を対象に悉皆調査を実施した。都道府県の断酒会事務局を通じて、依頼状および自記式調査票(紙の調査票)、返信用封筒を会員宅に郵送した。紙の調査票に加え、オンライン(インターネット)による回答も併用した。調査時期は、2020 年6 月下旬～8 月上旬に調査票の配布及び回収をした。本調査では、新型コロナウィルス感染症拡大前を 2020 年 1 月頃とし、現時点での様子を問う質問は、2020 年 6 月末時点について回答するよう依頼した。本調査は無記名式で行い、各会員の個人情報は取得しなかった。本研究は、久里浜医療センター倫理委員会の承認を得て実施した。

### 3) 調査内容 ※「別添 調査票」参照

性別、年齢、居住地、職業などの対象者の背景情報、アルコール依存症の治療歴、診断の有無、COVID-19 感染拡大後の飲酒状況、抑うつ・不安のスクリーニングテスト、例会<sup>2</sup>の参加状況、第 1 回目の緊急事態宣言中(2020 年 4 月～5 月)の生活習慣の変化、通常の自助会活動が困難な時に、必要な支援や施策についての意見(自由記述)等を含む全 24 問について尋ねた。

### 4) 回収状況

回答者数は、2981 名(紙の調査票: 2657 名、インターネット回答: 324 名、回収率: 46.7%)であった。この

<sup>1</sup> アルコール問題からの回復を目指す者(酒害者)による自助組織。

<sup>2</sup> 酒害体験を話し聽くための集会。

うち、性別(男性・女性)に回答した 2955 名分を解析した。「別添 図表」の各表中に記載したパーセント(%)は、各質問の無効回答を除く、有効回答に占める割合を示した。質問ごとに有効回答数が異なるため、「別添 図表」の各質問の末尾に合計(N=xxxx)を表記した。

## II. 調査結果 ※「別添 図表」参照

### 1) 回答者の基本属性

- ・性別は、男性(2678 名、90.6%)、女性(277 名、9.4%)であった。【質問 1、表 1】
- ・回答者の年齢は、平均 64.3 歳(26 歳～98 歳、標準偏差 11.0)であり、60 歳以上が全体の 67.2% を占めた。男女別にみると、男性は 60 歳代(30.1%)、70 歳代(31.4%)の割合が高かった。一方、女性は 50 歳代(28.0%)および 60 歳代(28.7%)の割合が高かった。【質問 2、表 2】
- ・回答者の居住地域は、近畿、関東、中部、中国、九州、東北、四国、北海道の順で多かった。

#### 【質問 3、表 3】

- ・職業は、男性全体の 44.8%が無職、就業者(正社員、自営業、パート・アルバイト、派遣・契約社員の合計)は 47.6% であった。女性では、主婦 31.6% に次いで、無職 21.7% と回答した者が多く、就業者は全体の 42.6% であった。【質問 4、表 4】
- ・主たる収入は、全体の 45.7% が年金と回答、仕事からの収入は 39.7%、生活保護は 5.9% であった。男女別にみると、男性は年金(47.6%)、女性は仕事からの収入(38.6%)が最も高かった。【質問 5、表 5】
- ・新型コロナ流行による主な収入への影響は、全体の 82.3% が「変わりない」と回答した一方で、全体の 15.6% が減少した(「収入が減った」:14.4%、「収入がゼロになった」:1.2%)と回答した。【質問 6、表 6】
- ・家族構成は、67.9% が既婚【質問 7、表 7】、同居家族がいる者が 80.6%【質問 9、表 9】、主な同居人は、配偶者 81.6%、子ども 40.6% であった。【質問 9、表 10】
- ・アルコール依存症の治療歴について、アルコール依存症と診断されたことがあるのは全体の 91.5% で、現在も通院しているのは、全体の 49.9% であった。

#### 【質問 10、表 11 および質問 11、表 12】

- ・断酒会に入会してからの年数(月数)は、男性:平均 157.7 カ月、中央値 122.0 カ月(最小 1.0～最大 641.0、標準偏差 134.8)、女性:平均 124.0 カ月、中央値 98.0 カ月(最小 1.0～最大 540.0、標準偏差 108.0) であった。年数区分では男女ともに、3 年以上 10 年未満が多かった。【質問 8、表 8】
- ・現在の喫煙について、女性の 39.9%、男性の 43.7% が「吸っている」と回答した。【質問 12、表 13】
- ・アルコール依存以外の「生活に支障が出るほどやり過ぎてしまう行為や活動」について、最も回答が多かったのは、「食べること」(女性の 15.2%、男性の 6.2%) であった。一方で女性の 67.1%、男性の 75.5% は、「特になし」と回答した。【質問 13、表 14】

## 2) 新型コロナウィルス感染症拡大下での飲酒状況

- ・新型コロナ流行後(令和2年2月)から現在(令和2年6月末)の期間について、「飲酒した」と回答したのは、全体の6.4%(女性の10.5%、男性の5.9%)であった。全体の82.0%は「断酒を続けている」と回答した。なお、全体の11.6%が飲酒状況を問う質問14に無回答であった。【質問14、表15】
- ・断酒会入会年数別に、飲酒状況について集計すると、「飲酒した」と回答した割合は、それぞれ、3年未満(15.4%)、3年以上10年未満(7.4%)、10年以上(1.9%)であった。【質問14、表16】
- ・「断酒を続けている」と回答した2424人のうち、女性の18.1%、男性の11.7%が「これ以上断酒を続けるのが難しいと感じたことがあった」と回答した。断酒継続困難と感じた状況では、女性では、「ストレスを感じたとき(59.0%)」「孤独を感じたとき(43.6%)」「自粛生活に疲れを感じたとき(41.6%)」の順で多かった。男性では、「ストレスを感じたとき(52.1%)」「孤独を感じたとき(36.7%)」「退屈なとき(29.3%)」の順で多かった。【質問14のA、表17、表18】
- ・「飲酒した」と回答した188人のうち、「コロナを契機に再飲酒した」と回答したのは、41人で、「飲酒した」と回答した者の21.8%、解析対象とした2955名の1.4%の割合に該当した。【質問14のC、表19】
- ・「飲酒した」と回答した188人の飲酒理由について、女性は「ストレスを感じたから(51.7%)」「孤独を感じたから(34.5%)」「特に理由はない(20.7%)」、男性は「ストレスを感じたから(39.6%)」「特に理由はない(31.4%)」「退屈だったから(16.4%)」の順にそれぞれ多かった。【質問14のD、表20】

## 3) 新型コロナウィルス感染症拡大下での断酒会会員の心身の健康状態

- ・COVID-19感染拡大前(2020年1月頃)と現在(調査時点)を比べて、身体の調子が「悪くなった」と回答したのは、女性の32.9%、男性の13.4%であった。また、女性の60.3%、男性の82.5%は「変化なし」と回答した。【質問15、表21】
- ・「うつ・不安のスクリーニング(K6)」について、「抑うつ・不安の問題あり」とされる5点以上の割合は、女性の45.4%、男性の26.9%であった。【質問16、表22】
- ・「全般性不安障害のスクリーニング(GAD7)」について、「不安障害の問題あり」とされる5点以上の割合は、女性の40.8%、男性の25.7%であった。【質問17、表23】

## 4) 新型コロナウィルス感染症の感染拡大後の断酒会活動への参加状況

- ・COVID-19感染拡大後(令和2年2月頃)から現在(令和2年6月末)までの期間、通常の対面式の例会に「いつも通り参加した」と回答したのは全体の29.4%であった。全体の21.2%は「全く参加しなかった(中止のため参加することができなかった)」と回答した。また、参加できた時期もあったが、参加頻度が減少したことを示す「いつもより参加頻度が減った」と回答した者は全体の38.3%であった。なお、「もともと例会に参加していない」と回答した者は全体の0.5%であった。【質問18、表25】

- ・「飲酒した」と回答した者のうち、「例会に全く参加しなかった」のは、34.8%であった。これは、「断酒を

- 「続いている」者における「全く参加しなかった」と答えた割合(23.1%)より高かった。【質問 18、表 26】
- ・COVID-19 感染拡大後(令和 2 年 2 月頃)から現在(令和 2 年 6 月末)の期間、「利用(参加)することのできる例会集会の会場があったと回答したのは全体の 62.5% であった。一方で「利用できる会場はなかった」と回答したのは全体の 31.6% であった。【質問 19、表 27】
  - ・例会が中止の期間、断酒を目的とした活動(オンライン集会やメール、LINE を使った交流会、野外集会など)に参加したと回答したのは全体の 21.6% であった。【質問 20、表 28】
  - ・例会が中止の期間、困っていたことについて、「断酒会の仲間と会えずさびしい(37.0%)」「断酒会の仲間の飲酒状況や、安否が気がかりである(28.9%)」「生活に張りを感じられない(14.5%)」の順に回答した者が多かった一方で、全体の 42.5% は「特に困らなかった」と回答した。【質問 21、表 29】
  - ・例会中止の期間、通常の例会の代わりになる活動の実施状況について、全体の 53.0% が「特に何もしなかった」と回答した一方で、「電話(アプリの音声通話機能含む)で会話した(18.4%)」、「LINE や、SNS、E メールなどを使って、文章でやり取りした(18.2%)」と回答した。「オンラインでの集会を開いた」と回答したのは全体の 6.5% であった。【質問 22、表 30】

## 5) 新型コロナウィルス感染症の感染拡大前後の断酒会会員の日常生活の変化

日常生活のさまざまな活動について、COVID-19 感染拡大前後の変化を、「増えた」「減った」「変化なし」で尋ねた。男女差について  $\chi^2$  検定を用いて検討した結果、有意差を認めた項目には、5%\*、1%\*\*、0.1%\*\*\*で示した。【質問 23、表 31】

### ①趣味や娯楽、レクレーションに費やす時間

全体の 58.3% が「変化なし」と回答した。増減は「減った(23.8%)」と回答した者が多かった。

### ②病院やクリニックへの通院回数

全体の 81.4% が「変化なし」と回答した。増減は「減った(14.2%)」と回答した者が多かった。

### ③散歩やスポーツなどの運動する機会\*\*\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(51.9%)より男性(62.3%)の方が高かった。増減は、女性の方が「減った(33.1%)」と回答した割合が高かった。

### ④友人・知人(断酒会の仲間も含む)との交流\*\*\*

全体の 48.5% が「減った」と回答したが、男女差でみると、「変化なし」と回答した割合が、男性(49.9%)の方が女性(40.5%)より高かった。増減では、「減った」と回答した割合が女性(53.8%)の方が、男性(47.9%)より高かった。

⑤新聞雑誌の閲覧や読書をする時間\*\*\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(57.1%)より男性(68.4%)の方が高かった。増減は、「増えた」と回答した割合が女性(35.6%)の方が男性(27.2%)より高かった。

⑥仕事や通勤に費やす時間

全体の78.4%が「変化なし」と回答した。増減は「減った(16.9%)」と回答した者が多かった。

⑦睡眠時間\*\*\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(67.7%)より男性(78.9%)の方が高かった。増減は、男性に比べ、女性の方が「増えた(17.9%)」および「減った(14.4%)」と回答した割合が高かった。

⑧家族との交流\*\*\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(59.7%)より男性(76.8%)の方が高かった。増減は、男性に比べ、女性の方が「増えた(27.8%)」および「減った(12.5%)」と回答した割合が多かった。

⑨掃除、洗濯など家事をする時間\*\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(66.7%)より男性(76.1%)の方が高かった。増減は、「増えた」と回答した割合が、女性(28.8%)の方が男性(21.4%)より高かった。

⑩TV やインターネットなど動画視聴時間\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(52.9%)より男性(61.7%)の方が高かった。増減は、「増えた」と回答した割合が、男性(36.2%)より女性(44.0%)の方が高かった。

⑪ゲームをする時間や頻度

全体の87.5%が「変化なし」と回答した。増減は「増えた(9.8%)」と回答した者が多かった。

⑫何もすることのない暇な時間\*

「変化なし」と回答した割合は、女性(60.4%)より男性(68.9%)の方が高かった。増減は、「増えた」と回答した割合が、男性(27.6%)より女性(34.2%)の方が高かった。

## 6) 求める支援・施策

「感染症の流行による緊急事態や、従来の方法での自助会開催が困難な時に、アルコール問題を抱える人や、その家族を支えるために、必要だと思う支援や、あつたら助かると思う施策」について、自由記述で尋ねたところ、合計 1098 名(女性 111 名、男性 987 名)より回答を得た。男女 50 件ずつ無作為抽出した回答を表 32(女性)、表 33(男性)に示した。なお、掲載にあたり、個人情報に関する記述は除き、固有名詞が記載されていた場合は、記号(■)で表記し個人が特定されないよう配慮した。【質問 24、表 32、表 33】

## III. まとめ

全国の断酒会会員を対象に、COVID-19 の感染拡大下における飲酒状況、生活習慣や心身の健康状態等を調査した結果、令和 2 年 2 月～6 月末の期間、「飲酒した」のは全体の 6.4% であった。これには、しばらく断酒していたが再飲酒した者と、断酒会入会から日が浅く、これまで一度も断酒に至っていない者などが含まれている。コロナ禍で「飲酒した」と回答した者の特徴として、「断酒会への入会年数が 3 年未満」、「女性」、「断酒会例会に全く参加しなかった」と回答した者の割合が高かった。また、コロナ禍における断酒会会員の心身の健康状態は、男性より女性の方が「身体の調子が悪くなった」「抑うつ不安の問題あり」に該当する割合が高かった。さらに、COVID-19 感染拡大による日常生活上の変化について、女性に比べ男性の方が、多くの項目で「変化なし」と回答する傾向にあった。一方、女性は男性に比べて多くの項目で「増えた」あるいは「減った」と回答した。

以上のことから、アルコール依存を持つ当事者では、男性より女性の方が COVID-19 の影響を受けやすい状況が窺えた。今後、女性の依存症当事者に向けたきめ細やかな支援が期待される。また、依存症当事者や家族が必要とする支援や施策については、高齢化の進む断酒会において、オンライン例会を開催するための支援を求める声が多かった。

なお、本調査の限界として、回収率が 5 割に満たず、調査に協力が得られなかった会員の動向については情報が得られていない。したがって、あくまでもアンケートに回答することが可能な状態にあった者から得られた結果であることを考慮に入れて、結果を解釈することが必要である。

## 別添 図表

### 「新型コロナウィルス感染症拡大が断酒会員に及ぼす影響に関する緊急調査」図表

総回収数 2981 件のうち、性別(男性・女性)について回答のあった 2955 名を集計の対象とした。

割合は無効・無回答を除いた値を示した。質問ごとに回答者数が異なるため、質問の末尾に合計者数を表記した。

質問 1) あなたの性別について、該当する番号に○をつけてください。(N=2955)

表 1

	回答数(人)	割合(%)
女性	277	9.4
男性	2678	90.6
合計	2955	100

質問 2) あなたの年齢を数字で下の□にご記入ください。(N=2943)

表 2

	女性		男性		合計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
20 歳～29 歳	3	1.1	2	0.1	5	0.2
30 歳～39 歳	19	6.9	46	1.7	65	2.2
40 歳～49 歳	44	16.0	222	8.3	266	9.0
50 歳～59 歳	77	28.0	550	20.6	627	21.3
60 歳～69 歳	79	28.7	804	30.1	883	30.0
70 歳～79 歳	48	17.5	838	31.4	886	30.1
80 歳～89 歳	5	1.8	202	7.6	207	7.0
90 歳～99 歳	0	0	4	0.1	4	0.1

質問 3) あなたのお住まいの地方にあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(N=2934)

表 3

	回答数(人)	割合(%)
北海道地方	77	2.6
東北地方	88	3.0
関東地方	692	23.6
中部地方	604	20.6
近畿地方	712	24.3
中国地方	358	12.2
四国地方	126	4.3
九州地方	276	9.4
その他	1	0.0

別添 図表

質問4)あなたの職業について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

※令和2年6月末での状況(N=2890)

表4

		正社員	契約・派遣社員	パート・アルバイト	自営業	主婦・主夫
女性	回答数(人)	37	7	58	14	86
	割合(%)	13.6	2.6	21.3	5.1	31.6
男性	回答数(人)	549	161	259	277	13
	割合(%)	21.0	6.1	9.9	10.6	0.5
合計	回答数(人)	586	168	317	291	99
	割合(%)	20.3	5.8	11.0	10.1	3.4

		学生	無職	その他
女性	回答数(人)	0	59	11
	割合(%)	0.0	21.7	4.0
男性	回答数(人)	3	1173	183
	割合(%)	0.1	44.8	7.0
合計	回答数(人)	3	1232	194
	割合(%)	0.1	42.6	6.7

質問5)あなたの生活を経済的に支えている、主な収入は何ですか。 該当する番号を1つ選んで

○をつけてください。(N=2700) ※令和2年6月末での状況

表5

	女性		男性		合計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
仕事からの収入	96	38.6	976	39.8	1072	39.7
貯金	4	1.6	84	3.4	88	3.3
年金	66	26.5	1167	47.6	1233	45.7
親族からの援助	24	9.6	34	1.4	58	2.1
生活保護	35	14.1	125	5.1	160	5.9
その他	24	9.6	65	2.7	89	3.3

別添 図表

質問 6)新型コロナ流行によって、主な収入への影響はありましたか。

該当する番号を 1 つ選んで○をつけてください。(N=2902)

表 6

	女性		男性		合計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
変わりない	225	82.4	2164	82.3	2389	82.3
収入が減った	36	13.2	381	14.5	417	14.4
収入がゼロになった	2	0.7	32	1.2	34	1.2
収入が増えた	1	0.4	16	0.6	17	0.6
その他	9	3.3	36	1.4	45	1.6

質問 7)あなたは、現在(令和 2 年 6 月末時点)、結婚していますか。

あなたの状況にもっともあてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。(N=2943)

表 7

	女性		男性		全体	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
結婚している	134	48.9	1865	69.9	1999	67.9
内縁関係	5	1.8	27	1.0	32	1.1
死別した	31	11.3	93	3.5	124	4.2
離婚した	72	26.3	319	12.0	391	13.3
未婚(結婚したことがない)	30	10.9	363	13.6	393	13.4
わからない	2	0.7	2	0.1	4	0.1

質問 8)あなたは断酒会に入会して何年、何か月たちますか。下の□に数字を記入してください。

※令和 2 年 6 月末時点での入会期間を記入してください。(N=2929)

表 8

		1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上 30 年未満	30 年以上
女性	回答数(人)	19	46	94	77	28	12
	割合(%)	6.9	16.7	34.1	27.9	10.1	4.3
男性	回答数(人)	157	367	757	730	355	287
	割合(%)	5.9	13.8	28.5	27.5	13.4	10.8
合計	回答数(人)	176	413	851	807	383	299
	割合(%)	6.0	14.1	29.1	27.6	13.1	10.2

別添 図表

質問 9)一緒に住んでいる人はいらっしゃいますか。

該当する番号を1つ選んで○をつけてください。(N=2938)

表 9

	女性		男性		全体	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
一人暮らし(単身赴任を含める)	69	25.2	501	18.8	570	19.4
一緒に暮らしている人がいる	205	74.8	2163	81.2	2368	80.6

⇒「一緒に暮らしている人がいる」を選んだ方へ(N=2368)

一緒に暮らしている方、全ての番号に○をつけてください。(複数選択可)

表 10

	回答数(人)	割合(%)
親	434	18.3
配偶者(内縁含む)	1932	81.6
子ども	955	40.3
兄弟姉妹	81	3.4
友人・知人	5	0.2
祖父母	18	0.8
孫	151	6.4
その他	64	2.7

質問 10)あなたはこれまで、医療機関でアルコール依存症と診断されたことがありますか。

該当する番号を1つ選んで○をつけてください。(N=2945)

表 11

	回答数(人)	割合(%)
アルコール依存症と診断されたことがある	2696	91.5
アルコール依存症と診断されたことはない	203	6.9
わからない	46	1.6

別添 図表

質問 11) あなたはこれまでに、アルコール依存症の治療のために医療機関(病院やクリニック等)に通院したことがありますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。(N=2886)

表 12

	女性		男性		合計	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
現在も通院している	169	62.1	1272	48.7	1441	49.9
これまで通院したことない	17	6.3	190	7.3	207	7.2
以前通院していたが 現在はしていない	85	31.3	1138	43.5	1223	42.4
わからない	1	0.4	14	0.5	15	0.5

質問 12) あなたの現在の喫煙について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(N=2914)

表 13

		やめた	吸っている	もともと吸わない
女性	回答数(人)	74	110	92
	割合(%)	26.8	39.9	33.3
男性	回答数(人)	1209	1153	276
	割合(%)	45.8	43.7	10.5
合計	回答数(人)	1283	1263	368
	割合(%)	44.0	43.3	12.6

質問 13) あなたは現在、生活に問題や支障が生じるほど、やり過ぎてしまう行為や活動はありますか？

当てはまる番号全てに○をつけてください。(N=2955) (複数選択可)

表 14

	性別	回答数(人)	割合(%)
ギャンブル	女性	2	0.7
	男性	97	3.6
依存性の処方薬や違法薬物使用	女性	5	1.8
	男性	33	1.2
ゲーム(オンライン、オフライン含む)	女性	4	1.4
	男性	54	2.0
買い物	女性	20	7.2
	男性	125	4.7
性的活動	女性	2	0.7
	男性	45	1.7
インターネット	女性	3	1.1
	男性	103	3.8

別添 図表

性別	回答数(人)	割合(%)
スマートフォンの使用	女性	19
	男性	135
食べること	女性	42
	男性	166
その他	女性	15
	男性	94
特になし	女性	186
	男性	2023

新型コロナ流行下での、あなたの飲酒状況についておたずねします。

質問 14)新型コロナ流行後(令和 2 年 2 月)から現在(令和 2 年 6 月末)の期間について、

あなたの飲酒状況にあてはまる番号いずれか1つに○をつけてください。秘密は守られます。できるだけ正直にご回答ください。※答えたくない方は、質問15)にお進みください。

表 15

		断酒を続けている	飲酒した	不明
女性	回答数(人)	215	29	33
	割合(%)	77.6	10.5	11.9
男性	回答数(人)	2209	159	310
	割合(%)	82.5	5.9	11.6
合計	回答数(人)	2424	188	343
	割合(%)	82.0	6.4	11.6

注)不明は、無効回答・無回答をまとめた。(N=2955)

表 16 断酒会入会年数と飲酒状況のクロス

断酒会入会年数	飲酒した		断酒を続けている		不明		合計
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	
3 年未満	89	15.4%	453	78.4%	36	6.2%	578
3 年以上 10 年未満	62	7.4%	693	82.9%	81	9.7%	836
10 年以上	27	1.9%	1251	87.9%	146	10.3%	1424

(N=2838)

別添 図表

質問 14)で「断酒を続いている」と回答した方のみ

質問 A 新型コロナの流行後、これ以上断酒を続けるのが難しいと感じたことはありましたか？

あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。(N=2424)

表 17

		なかった	あった	不明
女性	回答数(人)	166	39	10
	割合(%)	77.2	18.1	4.7
男性	回答数(人)	1874	259	76
	割合(%)	84.8	11.7	3.4
合計	回答数(人)	2040	298	86
	割合(%)	84.2	12.3	3.5

注)不明は、無効回答・無回答をまとめた。

⇒質問 A で断酒継続困難ありを選んだ方へ(女性 N=39、男性 N=259)

どのような時に、これ以上断酒を続けるのが難しいと感じましたか？当てはまる数字に○をつけてください。  
(複数回答可)

表 18

	性別	回答数(人)	割合(%)
孤独を感じたとき	女性	17	43.6
	男性	95	36.7
ストレスを感じたとき	女性	23	59.0
	男性	135	52.1
新型コロナにかかるのではないかと不安に感じたとき	女性	5	12.8
	男性	30	11.6
自粛生活に疲れを感じたとき	女性	16	41.0
	男性	69	26.6
退屈なとき	女性	5	12.8
	男性	76	29.3
臨時収入があったとき	女性	1	2.6
	男性	8	3.1
特に理由なく	女性	3	7.7
	男性	25	9.7
その他	女性	13	33.3
	男性	39	15.1

別添 図表

⇒質問 14)で「飲酒した」と回答した方のみ

質問 C あなたが、令和2年2月から、6月末の期間に、飲酒した状況に最も近い番号を1つ選んで○をつけてください。(N=188)

表 19

		コロナ流行前から 飲んだりやめたり	コロナを契機に再飲酒	あてはまらない	不明
女性	回答数(人)	12	6	10	1
	割合(%)	41.4	20.7	34.5	3.4
男性	回答数(人)	74	35	38	12
	割合(%)	46.5	22.0	23.9	7.5
合計	回答数(人)	86	41	48	13
	割合(%)	45.7	21.8	25.5	6.9

注)不明は、無効回答・無回答をまとめた。

質問 D 令和2年2月から、6月末の期間、あなたが飲酒した理由にあてはまる数字に○をつけて

ください。(複数回答可)(女性 N=29、男性 N=159)

表 20

	性別	回答数(人)	割合(%)
孤独を感じたから	女性	10	34.5
	男性	19	11.9
ストレスを感じたから	女性	15	51.7
	男性	63	39.6
新型コロナにかかるのではないかと不安に感じたから	女性	1	3.4
	男性	4	2.5
自粛生活に疲れを感じたから	女性	4	13.8
	男性	5	3.1
退屈だったから	女性	2	6.9
	男性	26	16.4
臨時収入があったから	女性	1	3.4
	男性	5	3.1
特に理由はない	女性	6	20.7
	男性	50	31.4
その他	女性	5	17.2
	男性	28	17.6

注)質問 B(断酒継続者への質問:断酒期間)と質問 E(再飲酒者への質問:最も長くお酒をやめていた期間)について、無効回答が多数のため集計しなかった。

## 別添 図表

新型コロナ流行下での、あなたの心と身体の健康状態についておたずねします。

質問 15)現在のあなたの身体の調子は、新型コロナウィルス感染拡大前(2020年1月頃)と比べて、どうですか？ 当てはまる番号いずれか1つに○をつけてください。(N=2802)

表 21

		変化なし	悪くなった	良くなった
女性	回答数(人)	152	83	17
	割合(%)	60.3	32.9	6.7
男性	回答数(人)	2105	342	103
	割合(%)	82.5	13.4	4.0
合計	回答数(人)	2257	425	120
	割合(%)	80.5	15.2	4.3

質問 16)Kessler 6(K6)<sup>3</sup> うつ・不安障害のスクリーニング(N=2738)

過去 30 日の間にどれくらいの頻度で以下のことがありましたか。下記の①～⑥の質問について、最も適当と思われる数字(0. 全くない～4. いつも)から1つ選んで○をつけてください。

{0点～4点:問題なし、5点～9点:抑うつ不安の問題あり、10点～:抑うつ不安障害の疑い}に分けて集計した(表21)。

表 22

		0～4点	5～9点	10点以上
女性	回答数(人)	136	39	74
	割合(%)	54.6	15.7	29.7
男性	回答数(人)	1820	438	231
	割合(%)	73.1	17.6	9.3
合計	回答数(人)	1956	477	305
	割合(%)	71.4	17.4	11.1

<sup>3</sup> Furukawa, T.A., Kawakami, N., Saitoh, M., Ono, Y., Nakane, Y., Nakamura, Y., et al., 2008. The performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan. Int. J. Methods Psychiatr. Res. 17 (3), 152-158.

## 別添 図表

質問 17) Generalized Anxiety Disorder-7 (GAD7)日本語版<sup>4</sup> 全般性不安障害のスクリーニング(N=2732)  
この2週間、次のような問題にどのくらい頻繁(ひんぱん)に悩まされていますか？

下の①～⑦の質問それぞれについて、最もよくあてはまる番号（0. 全くない, 1. 週に数日, 2. 週の半分以上, 3. ほとんど毎日）の中から、一つ選んで、その数字に○をつけてください。

{0点～4点：問題なし、5点～9点：軽度、10点～14点：中等度、15点～21点：重度}の4区分に分けて集計した(表 22)。

表 23

		0点～4点	5～9点	10～14点	15点以上
女性	回答数(人)	145	52	26	22
	割合(%)	59.2	21.2	10.6	9.0
男性	回答数(人)	1884	409	147	47
	割合(%)	75.8	16.4	5.9	1.9
合計	回答数(人)	2029	461	173	69
	割合(%)	74.3	16.9	6.3	2.5

⇒質問17)①～⑦のいずれか1問で「1」以上の番号を選択した方のみ(N=1530)

あなたがこの表の、いずれかの問題に1つでも「週に数日」「週の半分以上」「ほとんど毎日」にチェックしているなら、それらの問題によって仕事をしたり、家事をしたり、他の人と仲良くやっていくことがどのくらい困難になっていますか？当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※質問 17)①～⑦のいずれか1問で「1」以上の番号を選択した者(N=1530※無効回答を除く)の内訳

表 24

		全く困難でない	やや困難	困難	極端に困難	不明
女性	回答数(人)	74	86	20	8	0
	割合(%)	39.4	45.7	10.6	4.3	0.0
男性	回答数(人)	732	516	72	15	7
	割合(%)	54.5	38.5	5.4	1.1	0.5
合計	回答数(人)	806	602	92	23	7
	割合(%)	52.7	39.3	6.0	1.5	0.5

<sup>4</sup> 日本語版翻訳:村松公美子、宮岡等、上島国利

出典:村松公美子.新潟青陵大学大学院臨床心理研究,第7号,p35-39,2014.

村松公美子、宮岡等、上島国利他.心身医,第50巻(第6号) p166, 2010.

GAD-7 日本語版は原著者(Spitzer RL, Kroenke K)の許諾を得て翻訳しています。無断で転載・複写・複製・改変することを禁じます。

別添 図表

新型コロナ感染拡大後の断酒会活動や生活の様子についておたずねします。

質問 18)新型コロナ感染拡大後(令和2年2月頃)から現在(令和2年6月末)までの期間、あなたは通常の例会集会(1つの会場に集まって酒害体験を語る)に参加しましたか？あなたの状況に最も近い番号を1つ選んで○をつけてください。(N=2762)

表 25

	回答数(人)	割合(%)
全く参加しなかった	585	21.2
いつもより参加頻度が減った	1059	38.3
いつも通り参加した	812	29.4
もともと例会に参加していない	15	0.5
その他	291	10.5

表 26 例会参加状況と飲酒状況のクロス

例会参加状況	断酒を続けている		飲酒した		合計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
全く参加しなかった	474	23.1%	55	34.8%	529	24.0%
参加頻度が減った	896	43.8%	53	33.5%	949	43.0%
いつも通り参加した	665	32.5%	49	31.0%	714	32.4%
もともと例会に参加していない	13	0.6%	1	0.6%	14	0.6%
合計	2048	100.0%	158	100.0%	2206	100.0%

(N=2206)

質問 19)新型コロナ感染拡大後(令和2年2月頃)から現在(令和2年6月末)までの期間、あなたの地域で、利用(参加)することのできる例会集会の会場はありましたか？1つ選んで○をつけてください。(N=2858)

表 27

	回答数(人)	割合(%)
新型コロナの影響で、利用できる会場はなかった	904	31.6
新型コロナの影響はあったが、一部の期間、利用できる会場があった	1785	62.5
あてはまるものはない	169	5.9

別添 図表

質問 20)例会が中止の期間、あなたは通常の例会集会以外の断酒を目的とした活動(オンライン集会や、メール、LINE を使った交流会、野外での集会など)に参加しましたか？1つ選んで○をつけてください。(N=2844)

表 28

	回答数(人)	割合(%)
参加した	613	21.6
参加しなかった	2080	73.1
わからない	151	5.3

質問 21)例会が中止の期間、あなたが困っていたことについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。(N=2955) (複数回答可)

表 29

	回答数(人)	割合(%)
断酒会の仲間と会えずさびしい	1094	37.0
断酒会の仲間の飲酒状況や、安否が気がかりである	853	28.9
断酒会の仲間と会えず、相談できない	216	7.3
飲酒してしまいそうで不安	209	7.1
孤立や孤独を感じる	285	9.6
生活に張りを感じられない	429	14.5
ストレス解消ができない	284	9.6
特に困らなかった	1256	42.5
その他	165	5.6

質問 22)例会が中止の期間、あなたは、自分や仲間の断酒継続のため、通常の例会集会の代わりにすることをしましたか？ あてはまる番号を全て選んで○をつけてください。(N=2955) (複数回答可)

表 30

	回答数(人)	割合(%)
野外での集会を開いた	129	4.4
少人数で集まって話をした	325	11.0
オンラインでの集会を開いた	192	6.5
LINE や、SNS、E メールなどを使って、文章でやり取りした	537	18.2
電話(アプリの音声通話機能含む)で会話をした	543	18.4
特に何もしなかった	1566	53.0
その他	255	8.6

別添 図表

質問 23)緊急事態宣言発令中のあなたの生活は、どのようにでしたか？

以下の①～⑫の活動について新型コロナ感染拡大前(令和2年1月頃)と現在(令和2年6月)を比べ、「増えた」、「減った」、「変化なし」から、あなたの状況に当てはまるものを、1つ選んで○をつけてください。

表 31

	性別		増えた	減った	変化なし
趣味や娯楽、レクレーションに費やす時間	女性	回答数(人)	48	74	136
		割合(%)	18.6	28.7	52.7
	男性	回答数(人)	450	590	1490
		割合(%)	17.8	23.3	58.9
	合計	回答数(人)	498	664	1626
		割合(%)	17.9	23.8	58.3
病院やクリニックへの通院回数	女性	回答数(人)	17	44	199
		割合(%)	6.5	16.9	76.5
	男性	回答数(人)	103	348	2043
		割合(%)	4.1	14.0	81.9
	合計	回答数(人)	120	392	2242
		割合(%)	4.4	14.2	81.4
散歩やスポーツなどの運動する機会	女性	回答数(人)	39	86	135
		割合(%)	15.0	33.1	51.9
	男性	回答数(人)	358	595	1576
		割合(%)	14.2	23.5	62.3
	合計	回答数(人)	397	681	1711
		割合(%)	14.2	24.4	61.3
友人・知人(断酒会の仲間も含む)との交流	女性	回答数(人)	15	141	106
		割合(%)	5.7	53.8	40.5
	男性	回答数(人)	56	1212	1261
		割合(%)	2.2	47.9	49.9
	合計	回答数(人)	71	1353	1367
		割合(%)	2.5	48.5	49.0
新聞雑誌の閲覧や読書をする時間	女性	回答数(人)	93	19	149
		割合(%)	35.6	7.3	57.1
	男性	回答数(人)	689	113	1732
		割合(%)	27.2	4.5	68.4
	合計	回答数(人)	782	132	1881
		割合(%)	28.0	4.7	67.3

別添 図表

	性別		増えた	減った	変化なし
仕事や通勤に費やす時間	女性	回答数(人)	19	43	185
		割合(%)	7.7	17.4	74.9
	男性	回答数(人)	103	400	1864
		割合(%)	4.4	16.9	78.7
	合計	回答数(人)	122	443	2049
		割合(%)	4.7	16.9	78.4
睡眠時間	女性	回答数(人)	47	38	178
		割合(%)	17.9	14.4	67.7
	男性	回答数(人)	328	209	2007
		割合(%)	12.9	8.2	78.9
	合計	回答数(人)	375	247	2185
		割合(%)	13.4	8.8	77.8
家族との交流	女性	回答数(人)	73	33	157
		割合(%)	27.8	12.5	59.7
	男性	回答数(人)	438	142	1922
		割合(%)	17.5	5.7	76.8
	合計	回答数(人)	511	175	2079
		割合(%)	18.5	6.3	75.2
掃除、洗濯など家事をする時間	女性	回答数(人)	76	12	176
		割合(%)	28.8	4.5	66.7
	男性	回答数(人)	535	63	1906
		割合(%)	21.4	2.5	76.1
	合計	回答数(人)	611	75	2082
		割合(%)	22.1	2.7	75.2
TV やインターネットなど動画視聴時間	女性	回答数(人)	113	8	136
		割合(%)	44.0	3.1	52.9
	男性	回答数(人)	900	52	1535
		割合(%)	36.2	2.1	61.7
	合計	回答数(人)	1013	60	1671
		割合(%)	36.9	2.2	60.9
ゲームをする時間や頻度	女性	回答数(人)	30	6	205
		割合(%)	12.4	2.5	85.1
	男性	回答数(人)	224	63	2051
		割合(%)	9.6	2.7	87.7
	合計	回答数(人)	254	69	2256
		割合(%)	9.8	2.7	87.5

別添 図表

	性別		増えた	減った	変化なし
何もすることのない暇な時間	女性	回答数(人)	89	14	157
		割合(%)	34.2	5.4	60.4
	男性	回答数(人)	692	89	1728
		割合(%)	27.6	3.5	68.9
	合計	回答数(人)	781	103	1885
		割合(%)	28.2	3.7	68.1

質問 24) 感染症の流行による緊急事態や、従来の方法での自助会開催が困難な時に、アルコール問題を抱える人や、その家族を支えるために、必要だと思う支援や、あつたら助かると思う施策など、あなたのお考えやご意見をご自由にお書きください。

表 32(女性の回答抜粋)

No.	自由記述による回答内容(女性)
1	私は以前は支部長を預っていました。その頃はやっぱりお酒で困っている事を聞いたりすると訪問して自分の一番情けなかった酒害体験を語り自助会に誘う様にした。本人の体験談は相手の方も心にささるのか素直に聞いてくれました。ナカナカ止める事が出来なかった頃は人の話も聞く事が出来なかった事を思い出します。
2	日頃より行政よりの支援は受けていないし感染症流行期だからといって特別不自由も感じていない。
3	はやく終息してほしい。
4	・2ヶ月間(4月・5月)集会には参加出来ない状態が続きましたが仲間との電話のやり取りでとても助っている事も感じました。 ・自分の所の会員が再飲酒してしまった事、救いの手が出来なかつた事が残念→でもこの病気は生きるが死ぬか.. そう思うと、止め続ける道しか無いので、これからもどんな緊急にも戦って行きたいです。
5	高齢化が進み、オンライン(スマホ)等に対して勉強する場所が必要であると思います。それには、同じ仲間や支援者が共に働く場所居間が特に大切に感じました。大阪にある二作業所などは、地方にいる私にとっては実現を目指しているところです。
6	二の依存症予防教育アドバイザーの有志でオンライン例会をしていますが、断酒会を知らない人にも参加しやすく、そこで断酒会、自助グループというものを体験してリアルにつながっていく人もいるのでとても重要なツールであると思います。又、会場が遠くにある人、夜出れない人、一人外出するのに不安のある人などにはとても有効なものだと思いました。もっと広がってくれるといいと思います
7	親しい会員・家族の人とのちょっとしたメールだけでも私はうれしく思いました そして継続の力になりました
8	LINE やメールで気軽に相談したり、医療機関やスタッフ、臨床心理士とつながる方法があれば良いと思います。
9	専門医によるオンライン、電話を使用した酒害相談。
10	アルコール専門病院の中で行なわれているグループミーティングなどに積極的に参加する。断酒会の責任者の方に話を聞いてもらいう悩みをうちあける。孤立や孤独になる事がよくないと思います。人に悩みをうちあける事によって心が少し軽くなると思います。
11	社会福祉協議会などと連携して、酒害で悩む方々の電話相談・ライン相談ネット相談を充実すると救える命もあると思います。
12	電話やライン、オンラインなどで、相談できるところを作つて頂けるとありがたいです。
13	できれば、電話やメールでもやりとりができるようなればいいと思った
14	主人は、アルコール依存症の診断が二病院にて出ましたので施設に入っています。月に 1 回か 2 回二病院にてみていただけています。アルコール依存症は、かくすのでなんとも言えません。
15	断酒会や入院時一緒だった仲間とたまにでも電話で声が聞けると嬉しかった。
16	上記にかかわらずコマーシャル(アルコール)の中止!

## 別添 図表

No.	自由記述による回答内容(女性)
17	今回のように自粛期間が約3ヶ月と長期に及んだ場合例会が開催されず、自己管理のみの断酒継続をすることは、かなり苦しかつたです。もちろん、ネット等でのやり取りも可能であり、その頻度を多くすればよいのですが、個人との通信は相手の都合等を考慮してしまい、中々、思うようにコンタクトは取れませんでした。そこで提案ですが、お手紙(レターリレー)を提案します。ひと言づつ書いて同一用紙を会員から会員へ送っていくというのはどうでしょうか?スタートは1人から始まてもその支部のメンバーが最後に受け取る頃には全員のメッセージを読むことが可能です。どうですか?
18	高齢になり、今までと異なり例会が制限されると不安ですが、 <b>■</b> 教室等に通って必要な事を学び、オンライン例会等にも参加したいと思っています。
19	お疲れ様です 自粛期間中『青空例会やろうか』と意見出てました。実際参加できませんでしたが、私自身は会員の皆様との交流に価値を感じているので会員の方々との交流に努めました。お蔭様で現在に至るまで元気のやりとりをしながら過ごさせて頂いております。有難うございます。
20	オンライン等は便利ではあるが、便利ゆえに足でかせぐ断酒会の基本が出来ず、断酒継続するにはやはり、例会場を開けて、自分の足でその場へ行き、体験談を肌で感じる事は、大切だと思います。オンラインはオンラインで普段聞けない方多くの方(他県等)の体験談が聞ける利点はあるかと思います。ただ、やっぱり、他県への研修会等への参加がめんどうになってしまふのではないかと思ったりします。
21	いろいろな方法で(ハガキ、メール)支援する。
22	例会できる公の場所が必要です
23	・アルコール依存症になって、入院して、退院する時体が正常でない間、仕事ができない。経済的支援があれば治りよう専念したあとも安心して退院できる。通帳もダイヤも親や妹に預けなくてはいけない。結果なくなってしまった。
24	もし飲みたいという欲求が強くなってしまってどうしようもなく飲んでしまう、のんでしまいたいときにこういった手紙やメールなどが届くだけでもアルコール依存の本人達は助けられる部分があるかもしれません。
25	いつも役員の力で会場を用意して頂き、ありがとうございます。自分が出来る事は続けて行く事を強く思い、夫が並んで飲んでいても私は別と思っているので、一緒に生活しています。一生断酒守ります。
26	・野外集会等少人数で集まる機会を作りたい。・会報等で『特別号』を作り発送して欲しい。
27	当初、メディアで報道していた感じとははるかに未曽有の事態となり、研修会、記念大会どころか、日頃の例会さえ閉鎖となり、本当に...『一度殺されてみた!!!!』という心持ちでした。が、一般の方々も口々に言わわれているように、「当たり前のことを当たり前と思ってはいけない。」という事を、痛切に思いしらされた...だけど、ここまでのことがないと、私たちはもしかしたら気付けなかった事もたくさんあると思います。今一度、「断酒会の常識」もこの度を機会に改善の機会を得たのではないか。古き良きものを大切にしながら、未来を見据えた断酒会の発展を心からお祈りしております。
28	自助グループのHPがもっと活用されたら良いのにと思う。
29	Zoomなどを使ったオンライン例会の充実を!地域の会員は高齢者が多く、そうした手段が利用できない為、地区をまたいた活動ができると良いと思う。
30	例会に出席できない人に電話して今の事情を聴いてあげる 出席しない(できない)ことをせめない。
31	マスコミの力を利用した広告宣伝 Eテレなどでア症のことを啓発
32	『108 煩惱、の中、食欲、性欲、名誉欲 etc 私(ワタクシ)自分がアルコール依存症になった原因は先ず『ストレス、が最大で有ると思う為、解消の方法『相談者、(意見箱 etc)が必要ではないでしょうか???一人で悩んだ末に酒量が増え、悲観的(ネガティブ)志向へと悪化した訳です。幸い、『自殺、を考えた事は一度も無く、『母親(92歳)、の『明日は明日の風が吹く、(楽観的...ポジティブ)で60歳(還暦)の現在、絶対、孤独は厳禁でしょう。

## 別添 図表

No.	自由記述による回答内容(女性)
33	仲間同士、LINE、電話などで、定期的にやりとりをする、入会し始めの人や、落ち着かない人に一言でもいいから LINE、メールなどでつながりをとる。アルコールの相談を出来る所を増やす。最初から断酒という言葉を使わず、接酒から、やってみようと言ってみる。
34	支え合う心を常に持ちたいものです
35	自助グループは大切。自助グループ内でのライン交換 日々思っている事ナド自由に書き込みが出来、閲覧できる システムがあれば良いのではと日々感じる。
36	断酒会の例会、参加した方が精神的に楽になります。近隣や参加できる日だけでもよいので。仕事をしながらだとストレスたまり、又、飲酒しそうでこわいです。
37	例会に出席する事が一番かと思います。
38	断酒会のない時は小さい例会を会長宅で行っておりました。公園でのあいさつ会もしておりました。
39	一般的なマスクとか手洗いとかはいろいろ報じられていましたが、だれにでも相談できなくて困っている人に対しての配慮が欲しい。確かに断酒会等につながっている人は手だてやケアはあるけれどこういう状況になってアルコールに手を出した人は、困っていても相談する場所さえわからないのではと思った。すべての人に対するケアは難しいとは思うがどこかにヒントなり方法なりがあればとも思った。難しいけれど、何かで目にとまって相談できれば救われるのではないかでしょうか。
40	夜の例会はゴールデンタイムで飲みとなる時間にやるとか、毎日例会とか、色々教わりましたが、夜出掛けることでゆうわくなどあり、お酒の話しをすることで帰えりに飲みとなることが良くありました。この例会中止は世間の人と同じ、あたりまえの時間に夕ごはんをたべることもできて、逆に健康な心と体になれた。例会が苦痛な会員もいる。
41	コロナの流行で不用不急の外出をしない事となりましたが個人の考え方もありますが私にとって断酒会出席は不用な外出ではないと思ったので会社には言わず出席しました。同じ会の人で休まれた方の中には断酒会に来れなくなった方も何人かおられました。どういう事情で来られないのかはわかりませんが、どうしたらまた断酒会に来てもらえるのか。私はまだ入会して7ヶ月で断酒会の事をほとんどわかりませんが、続けて出席しないとアルコールに手が出ると思います。いろんな依存症があります 私は糖質依存にも興味があります。
42	(1)Zoom ミーティング、Line ミーティングー今参加して助かっています。これをもっと参加しやすく。大きくするには?医療とのコラボをすすめるとか、飲酒欲求 110 番とか／家族の方への酒害相談など (2)Zoom や Line は、マスホが必要お金もかかります。お金も必要のない、何かつながり方が、必要では?それとよく言われていたのは、キカイオンチな人にはこれはむずかしいという点です 何かクリアーできる方法ありますかネ、断酒会は年齢層上ですから。
43	ノンアルのオンラインのみ会
44	愛知県の今年の全国大会の中止で、参加料 2500 円を支払いましたが、返ってこないとのことです。他に経費をまわすとの説明がありましたから、納得いきません。月々の会費も、断酒会によって金額が違いますし、会員なのに支払わない人もいます。その差は何ですか?何にお金が使われているのか、きちんとした説明も配布物もありません。この病気にかかった人は、お金に困る人は沢山いるはずです。毎月 2500 円の支払いも大変だと思います。コロナの期間の会費は何に使われたのですか?せめて、どこにいくらかかったのかきちんとした説明、配布物を配るなど、会員に対してほしい。上の人達が横領しているのではないかと考えてしまいます。
45	仲間との連絡は必要と感じた。
46	専門治療を受けている通院中・入院中の方々への支援が必要であると思った。

## 別添 図表

No.	自由記述による回答内容(女性)
47	・断酒例会は出席できないと命に関わる場合があるので、公共施設の利用を禁止しないでほしい。すべて通常通りの開放しなくてもよいので、大きなホールで「三密」にならないようにして開催できるように配慮してほしい。・千葉県市では全面的に公民館が借りられなくなり、徐々に開放されはじめたときも「=」(どの公民館でも用意されている大きめの部屋)を借りることができなかつた。理由としては「断酒会は高齢者が多いから」という「バカか、お前」といいたくなるようなもので、あきれかえってモノが言えない。同じ断るにしてももう少しマシな言い方はないものか。・私は AA と断酒会と両方で活動している。AA はかなりはやいうちからオンラインミーティングがたちあがつた。断酒会は高齢の方も多く、IT リテラシーが低いためオンラインでの例会はかなり難しいものと思う。なので、よりいっそ行政のほうで例会を開催する場所は確保できるように働きかけてほしい。
48	入会している会では、社会福祉センターなどの公共の会場が多いせいか会場の使用不可による会の出来ない月があり、何時もと違う会場が開かれても交通機関や会場での感染の不安から参加できなかった。リモートでの例会、あるいは何かの方法で自宅近くで会合が持てると有りがたいと思った。電話で個人間の話は出来たが、通常例会ほどにはリラックス出来なかつたです。
49	コロナに限らず相談しやすい環境
50	オンラインミーティングは良いと思う。その環境が整わない人のためには、自助会が自分の施設を持てれば何とか楽にはなると思う。

表 33(男性の回答抜粋)

No.	自由記述による回答内容(男性)
1	夫は現在 75 才で、身体衰えもあり、連続飲酒もなく、過ごしています。ただ、もっと若かったら、このような状況だったら飲酒していたと思います。週に1回の断酒会、参加で、断酒を続けて来られて、私達家族もとても有難く思っておりまます。直接、集まることが出来ないなら、インターネットを使ってとかの、繋りを持たないと断酒は続かないと思えます。私達のような高齢者には、ネットとか、少し無理かもしれないけれど、若い人達には、ネット、スマートフォンなど、活用して、断酒続けられる、環境を作った方がよいかもと思っています。家族より
2	ZOOM などでのつながりが出来ると良い。
3	断酒会員宅への訪問や電話連絡を定期的にすべきだと思った。スリップしそうな時、してしまった時などにお互い連絡し易いよう、例会等を通して、もっと仲よくしておく方が、連絡取り易いと思った。LINE やオンライン例会、ズームなどを試してみるのもいいと思った。
4	行政と連携をしている社会福祉法人(例・地域ケアプラザと断酒会が)連携して酒害相談事業を定期的に積極的に行うこと等は、比較的にすぐにも実施出来るように思います。
5	せめて オンラインでの例会があつたら。人との話し合いはとても重要です。
6	会には「緊急連絡網」があるので、ひとことだけでも声を伝えられたら良いと思う。
7	声かけ
8	・スーパー やコンビニで酒を買う人が多くなつた。 ・若い男、女の人が多く酒を買っていると思う(未成年も) ・精神病院(アルコール専門)を退院した人が自助グループに来ない。 ・断酒 5、6 年の人が会から離れていく。 ・喫煙場所がどんどん無くなつていく。 ・若いアルコール依存症者が会に出席しない。
9	電話でも何でもよいので、仲間の声を聞くことだと思います。そうする事で自分自身を平常心に保つこと。そうしないとストレスが溜まり家族に「あたり」、また家族を苦しめる恐れがある。最悪の場合、再飲酒にもなりかねないと思います。

## 別添 図表

No.	自由記述による回答内容(男性)
10	・自由参加のオンラインミーティング。 ・屋外ミーティング
11	※外出の自粛の要請、等あるが、外へ出たい、気物ちの方がつよくさんぽしている。例会場所がだめなため、仲間と歩こう会的に動いてる。天命と思いがまんしている。
12	自分の場合は、アルコールの専門病院につながっているのでこまつことを医師にそだんしている。
13	・メール・ラインなどのやりとりをして、近況を確認する。 ・アルコール問題、関連の本などを郵送して、アルコール依存症に対する意識を高める。 ・断酒会の仲間と会って、お茶をのんだり、食事などをして近況の確認をする。 ・電話で仲間と会話をして、断酒に対するモチベーションを低下しないように努める。
14	今の生活が落ちない様に、気分を落とさない様に、思う気持が不安定になる様に思い、気持が落ちつかなかつた。
15	定期的な情報交換を行う事が必要である。
16	病院に行って相談すること、断酒会の仲間と相談する。
17	今まで回りの仲間や人々、親族にさんざん迷惑を掛けて來たが今時間を掛けて思い出し感謝しかない。今まで断酒・断酒が目的でしたかが仲間への感謝しかない。
18	①例会が毎回出席者が同じ顔になっている。結局話す事がなくなる。②①に関係するが毎月回同じ内容の話を聞く事になる。(出席者の顔を見る事で満足する)③県単位の総会の行事等が中止になつたり出来るのか不明である(2020忘年会まで)
19	外出の制限があって、人との会話が減った、アルコールに逃げる様な事は全く無く、今まで多くの先人のすばらしさを考え直している所です。それはこう言う時こそ普段やっていない片付けとか余生の為の準備をやっておこうと思う
20	酒を飲む、飲まない本人の考え
21	将来の働き手を安定的に確保していくためには、酒税を取り続けることに主眼を置くよりは、その酒税の一部を積極的に使って、アルコール依存症の保護や教育、安定的かつ人間らしい生活を取り戻せる様な施策がもっと必要と痛感する。全ての働く人や生活保護者を含め、生活できないから入院する様な依存症者を無くしていただきたい。・全国の断酒会(国、県、任意団体等)には一切の活動に際して手厚い補助を出し、全て無料化すべきであり、毎日数千円以内の会費を納められないでやむなく退会し、再飲酒につながる人達を救ってやりたい。
22	具体的な施策が思い至らなかつた。
23	例会が大切ですので、会場確保の支援
24	コロナ感染の折、会場開催の件では、役員皆様方の御苦労大変だったと思います。私もコロナ等に負けず一日も早い全ての会場が利用出来るよう、信じがんばりたいと思います 私は断酒してから、まだ 1 年 2,3 ヶ月ですがこの間、酒がのみたいと思った時は、いつも妻にヨーグルトを冷ぞう庫に 2,3 個入れてもらっています。今も、ヨーグルトを食することで、酒をやめられています。例会でも私はこの話を良くします。皆様これからも、心弱いアル中の為御指導下さい
25	筋力のおとろえ。家族(妻)の認知症が進んだ。孤独感を感じる。筋力低下による老化が心配。ペット(犬)仕入れ毎日散歩をはじめた。1年3カ月、朝晩確実に実行。

## 別添 図表

No.	自由記述による回答内容(男性)
26	生活保護、ホームレス関連の入所施設(更生、救護)にてケースワーカー兼管理職(副施設長)として勤務させていただいている。断酒会例会、AA ミーティング、院内例会等が中止されていた期間は施設退所し、単身居宅保護(生活保護受給者)を受け、近隣(施設の)居生の方々のアフターフォロー・アウトリーチをより、コロナ禍以前より重点的に訪問し、再飲酒、スリップの予防、対応を行ないました。現状実態は想像以上に厳しく、情報不足、ア症専門医療機関の御協力を得ることが再三あり、法外的に一時的に施設(当該)入所してもらうこともありました。やはり自助 G は居場所、行き場所として、本当に貴重な重要な存在です。
27	通常例会再開後も定期的にオンライン例会は開催して欲しい!!
28	オンラインでの例会
29	緊急事態や自助会開催が困難な時に備えてという意味ではなく。①老齢や病気などのために自助会の例会場へ行けない人のために。②オンラインが日常的になっている若い人が、自助会に入りやすくするために、通常の例会にスマホ+PC からでも参加できるシステムがあれば良いと思います。(現在、私なりに検討中)これにより、参加者が減少している例会集会も活性化するのではないかでしょうか。
30	Q22 の 3・4・5 の様な孤立させない代替案は特に必要ではないかと感じました。
31	情報のていきょう。特にマスコミを使ってのていきょうがほしい。テレビ番組で特集を組むなり自助グループの紹介。AA(断酒会)も含めての取り組みや紹介。ダルクはよくテレビで取り上げているけどアルコール依存はなかなか軽くみられてるふしがある。医者や役所の理解も少ない。もっと広く浅くつたえる方が良い。
32	無我夢中で断酒、断酒活動にあけくれた日々が懐しく思われる。病苦に悩やまされた歳月ものりこえ(アルコール以外)今は平穏な生活を送っている断酒会の友人、又今は亡くなった人の家族とは年賀状程度のつき合をしている。コロナ対策には 3 密を守り人に迷惑をかけない様に努力している
33	・自助会を中心に断酒してましたので私にとっては重要な問題でした。それに変るものは無いと考えてます。
34	テレワーク(オンライン)は、有効と思う。新入会員も、敷居が低く、継続会員になってくれそう。入会者数を増やすためにも、PC が苦手な人も、取り扱いやすくシステム化が必要と思います。
35	ネット例会(全国)も有りだと参加して、感じた
36	愛知県断酒会の臨時例会に参加出来たことが再飲酒防止となった!!
37	断酒幸福の道!!78 才にて、この二による、集会等の尊さにより、自分を二出来ました。55 才の時、二。67 才の時、二への道、100 才二=100 才二、100 才二=振り込みで事二ました。断酒二挑戦です。
38	・わかり易い情報をお願いします。(小生後期高齢者)年令的に、身体能力の低下が否めないこと、加わえて、認知機能も劣化しています。ホーム・ページも、幅広い情報があればと期待します。 ・今回のとりまとめ結果を、何らかの形で、是非とも知りたいです。以上
39	断酒会役員・会長・世話役などによる家庭訪問の実施。
40	今回外出の自粛要請がありました。断酒がまだ不安定な方に対して 屋内に居続けるのは精神的にかなりの負担がかかると思われる所以 可能な範囲で外出を行い気分転換を図る。その上で同居者が居るのであれば気が楽になる様な会話をします。無理に断酒の為に何かしようと思わない事では無いでしょうか。自分の場合例会に行かなくても済むのでその辺は気が楽だった。
41	市の公民館が閉鎖状態とか制約条件(時間の制限や定員の制限)のため、例会が開催できない現状です。会場が取りづらいのは「断酒例会はアルコール依存症の治療の一環である」という医学的な位置づけが認知されていないし、公認(法的に)されていないためだと感じるので、断酒会活動の社会的な存在意義の確立をお願いしたいし、我々も努力するしかないかな、と思います。

## 別添 図表

No.	自由記述による回答内容(男性)
42	会員への定期的な訪問、Tel 等の連絡を県連、全断連として考えてほしい オンライン例会、ライン等スマホで一部行なれていますが。高齢者には無理です 家族例会等小さな動きが必要と思います 当会ではコロナでの発病者もちろん死者も出ませんでしたか、依存症による死亡者が2人出ました再飲酒も7人、出ました。会員27人の少な会の中でこの有様です。
43	収束時期が予測不能で大勢での集会は感染リスクが避けられないで、今まで以上に電話やインターネットでのテレビ会議による相談、紙媒体による宣伝などの活用を増やす必要がある。
44	私は、兵庫県の片田舎の二断酒会の会長をしています。近頃テレビでリモート会議が多用されているのを散見しています。そこで思ったのですが、例えばzoomを使って断酒例会を行えるのではないかと。しかし、調べてみると1人当たり月に二千円近く掛かるので、断念するしかありません。断酒例会開催という目的(あらゆる依存症の自助グループの例会)に、対して行政よりご支援をいただけたら助かるのですが。
45	断酒会会員が高齢なため、SNSなどを使った交流が難しく、個別訪問などのアナログな活動しか選択肢がなかった。
46	断酒会の仲間たちには、アルコール依存症による入院を経て、断酒会に繋がった人が少なからずおります。コロナ騒動以前であれば、退院後、断酒会や自助グループ、クリニックのプログラム等により断酒継続できたでしょうが、この度のコロナ騒動下、「自助グループもプログラムも何も行われていない」状況で、退院させられ野に放たれた人たちがいることでしょう。精神疾患に分類される入院においても、現状の制度では3ヶ月を超える入院を拒む病院が大半と聞きます。もし、この制度が改善されて、長期の入院(依存症に完治はありませんが)が認められれば、今回のコロナ騒ぎのような状況下でも、入院した彼らはコロナから隔離されつつ治療を継続できたでしょう。現状の、3ヶ月までしか診療点数を認めない制度を改善するべきです。これはコロナ騒動以前から思っていましたが、改めて思いを強くしました。
47	テレワークの断酒会板があれば良いと思う。実際私が責任 担当者で Skype でテストしました。うまくいったが 仲間に周知させるのが 難しい。二病院の二Dr, の様な テレビミーティングが 各所であれば 良いと思う。
48	オンライン例会など新しい方法での例会が施策されていた。例会は対面を基本とされている為、オンライン例会が一時的なものなら良いが恒久的になりえた場合、断酒会自体の魅力が半減すると僕は思います。
49	各県で地域断酒会の代表者を決めて、1週間に一度会員に連絡を取って会員の状況を把握してほしかった。 集まるのが難しいなら、少人数、屋外等も含めて検討してほしかった。 アンケートはとてもいい試みだと思います。この集計結果を公表してもらえた後、今後の自助グループ活動の問題点と改善点に役立てられると思います。
50	オンラインによる例会がみなさんができるとよいと思うが、年配の方は操作がむずかしいと思う方が多いと思うので、断酒会のオンラインの例会がどなたでも簡単にできるようプロジェクトを立ち上げ、サポートシステムを作ったら、可能かと考える。

## 新型コロナと生活・健康

### 断酒会会員の皆様への緊急アンケート

#### <このアンケート調査の目的>

新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的流行(パンデミック)の影響を受け、2020年4月、わが国においても感染予防のため緊急事態宣言が出され、外出の自粛や人との接触を避けることが要請されました。現在、沈静化の傾向がみられるものの、この感染症との闘いは長期に及ぶことが見込まれています。

日本社会が今までに経験したことのない事態が、皆様の断酒継続に悪影響を及ぼしていないか大変危惧されます。そこで、断酒会会員の皆様の生活習慣や心身の健康状態、自助会活動等の現状について、緊急アンケートを実施させていただくことになりました。

この調査で得られる結果は、緊急事態の際に、アルコール問題を抱える人が直面しやすい問題や、自助会活動の継続に必要な事柄を考えるための基礎資料となります。アンケートの所要時間は20分程度です。

皆様の声は大変貴重です！ぜひとも、ご協力のほどよろしくお願いします。

#### <このアンケートへの回答方法>

次のAかB、いずれか1つお好きな方法をお選びください。

A. このアンケート冊子に記入する。回答後、返信用封筒に入れて郵送。

よく説明をお読みいただき、この冊子にご記入の上、添付の返信用封筒(切手不要)にて郵送してください。

B. オンライン(WEBアンケート)で回答する。

お手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコン等(インターネット接続可能な端末)で、右のQRコードを読み取る。

または、<https://questant.jp/q/dansyu>にアクセスする。

回答入力の終了後、送信完了ボタンを押してください。

QRコード

#### <アンケートの回答期限>

このご案内がお手元に届いてから 1週間以内にご返送(WEBアンケートは送信完了)してください。  
※1週間を過ぎてもご回答いただけますが、この調査は、十分な回答が集まった時点で終了します。

## アンケートの説明

はじめに、次の説明をお読みください。

このアンケートは、依存症対策全国センター(厚生労働省より久里浜医療センターが委託を受け実施)の調査研究事業の一環として断酒会のご協力をいただいて実施しています。得られた結果は、今後の施策を検討する際の貴重な資料となります。

### 【個人情報の保護と倫理的配慮】

お名前などの個人情報は聞きません。あなたの回答が特定されたり、外部に漏れたりすることはありません。また、あなたの回答が他の断酒会員に知れることはできません。回答された内容は調査目的のみに使用します。回収したアンケート用紙や、データを保存した記憶媒体は、厳重に保管します。なお、得られた結果は統計的に処理し、個人が特定されない状態で公表する予定です。

### 【調査協力への同意について】

調査に協力するかどうかは、あなたの自由意志に基づいて決めていただくものです。協力しないことによる不利益は一切ありません。一度同意をされても、いつでも途中でやめることができます。ただし、アンケートの郵送提出後(WEBアンケートでの回答の場合は、送信ボタンを押した後)は、個人が特定できないため、返却することができませんので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

この調査は、独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター倫理委員会の承認を得て実施しています。

このアンケートにご協力くださるかどうかはご自由です。

ご協力くださる場合は、回答済みのアンケートを添付の封筒に入れて  
返送してください。

ご協力されない場合は、お手数をおかけしますが、お手元で処分してください。

<調査主体> 依存症対策全国センター <https://www.ncasa-japan.jp/>

<実施責任者> 松下 幸生 (国立病院機構 久里浜医療センター 副院長)

<お問合せ窓口> 国立病院機構 久里浜医療センター 断酒会アンケート事務局 担当: 新田千枝

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5-3-1

TEL: 046-848-1550 E-mail: [nitta.c@ncasa-japan.org](mailto:nitta.c@ncasa-japan.org)

質問は次のページからはじまります。

## 別添 調査表

質問は1)~24)まであります。似た内容の質問もありますが、できるだけ全ての項目にご回答ください。

答えたくない質問は、回答しなくても大丈夫です。

あなた自身のことについておうかがいします。令和2年6月末時点での状況をお答えください。

1) あなたの性別について、該当する番号に○をつけてください。

1. 女性      2. 男性      3. その他

2) あなたの年齢を数字で下の□にご記入ください。

--	--

歳

3) あなたのお住まいの地方にあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 北海道地方      2. 東北地方      3. 関東地方      4. 中部地方  
5. 近畿地方      6. 中国地方      7. 四国地方      8. 九州地方

4) あなたの職業について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。※令和2年6月末での状況

1. 正社員      2. 契約・派遣社員      3. パート・アルバイト  
4. 自営業      5. 主婦/主夫      6. 学生  
7. 無職      8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

5) あなたの生活を経済的に支えている、主な収入は何ですか。※令和2年6月末での状況

該当する番号を 1つ選んで○をつけてください。

1. 仕事からの収入      2. 貯金      3. 年金      4. 親族からの援助  
5. 生活保護      6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

6) 新型コロナ流行によって、主な収入への影響はありましたか。

該当する番号を 1つ選んで○をつけてください。

1. 変わりない      2. 収入が減った      3. 無収入(収入がゼロ)になった      4. 収入が増えた  
5. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

## 別添 調査表

7) あなたは、現在(令和2年6月末時点)、結婚していますか。

あなたの状況にもっともあてはまる番号を 1つ選んで○をつけてください。

- 1. 結婚している
- 2. 内縁関係(配偶者のような関係)
- 3. 死別した
- 4. 離婚した
- 5. 未婚(結婚したことがない)
- 6. わからない

8) あなたは断酒会に入会して何年、何か月たちますか。下の□に数字を記入してください。

※令和2年6月末時点での入会期間を記入してください。

断酒会入会してからの期間→  年  カ月

9) 一緒に住んでいる人はいらっしゃいますか。該当する番号を 1つ選んで○をつけてください。

- 1. 一人暮らし(単身赴任を含める)
- 2. 一緒に暮らしている人がいる

→ **2.を選んだ方へ** 一緒に暮らしている方、全ての番号に○をつけてください。

- 1. 親
- 2. 配偶者(内縁関係含む)
- 3. 子ども
- 4. 兄弟姉妹
- 5. 友人・知人
- 6. 祖父母
- 7. 孫
- 8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

10) あなたはこれまで、医療機関でアルコール依存症と診断されたことがありますか。

該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1. アルコール依存症と診断されたことがある。
- 2. アルコール依存症と診断されたことはない。
- 3. わからない

別添 調査表

11) あなたはこれまでに、アルコール依存症の治療のために医療機関(病院やクリニック等)に通院したことがありますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 現在も通院している。
2. これまで通院したことない。
3. 以前、通院していたが現在はしていない。
4. わからない

12) あなたの現在の喫煙について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. やめた
2. 吸っている
3. もともと吸わない

13) あなたは現在、生活に問題や支障が生じるほど、やり過ぎてしまう行為や活動はありますか？

あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |                      |          |                       |
|----------------------|----------|-----------------------|
| 1. ギャンブル             |          |                       |
| 2. 依存性のある処方薬や違法薬物の使用 |          | 3. ゲーム(オンライン、オフライン含む) |
| 4. 買い物               | 5. 性的活動  | 6. インターネット            |
| 7. スマートフォンの使用        | 8. 食べること | 9. その他(具体的に: _____)   |
| 10. 特になし             |          |                       |

質問は次のページに続きます。

新型コロナ流行下での、あなたの飲酒状況についておたずねします。

14) 新型コロナ流行後(令和2年2月)から現在(令和2年6月末)の期間について、

あなたの飲酒状況にあてはまる番号いずれか1つに○をつけてください。秘密は守られます。できるだけ正直にご回答ください。※答えたくない方は、質問15)にお進みください。

<p>1. 断酒を続けている</p> <p>2. 飲酒した</p>	
<p>1.を選んだ方は、質問A、Bへ進む</p> <p>2.を選んだ方は質問C、D、Eへ進む</p>	
<b>質問A</b> <p>新型コロナの流行後、これ以上断酒を続けるのが難しいと感じたことはありましたか？</p> <p>あてはまる番号を<u>1つ選んで○をつけてください</u>。</p> <p>1. なかった</p> <p>2. あった</p> <p>→質問Aで2.を選んだ方へ</p> <p>どのような時に、これ以上断酒を続けるのが難しいと感じましたか？</p> <p>当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答)</p> <p>1. 孤独を感じたとき</p> <p>2. ストレスを感じたとき</p> <p>3. 新型コロナにかかるのではないかと不安に感じたとき</p> <p>4. 自粛生活に疲れを感じたとき</p> <p>5. 退屈なとき</p> <p>6. 臨時収入があったとき</p> <p>7. 特に理由なく</p> <p>8. その他</p> <p>〔 〕</p>	<b>質問C</b> <p>あなたが、<u>令和2年2月から、6月末の期間</u>に、飲酒した状況に最も近い番号を<u>1つ選んで○をつけてください</u>。</p> <p>1. 新型コロナ流行前から、飲んだりやめたりの繰り返しだった。</p> <p>2. しばらく断酒していたが、新型コロナ流行後に再び飲み始めた。</p> <p>3. あてはまるものはない</p>
<b>質問B</b> <p>お酒をやめてから、<u>令和2年6月末</u>までに、断酒した期間は、何年何ヶ月ですか。</p> <p>下の□に数字を記入してください。おおよその年月でかまいません。</p> <p>断酒期間→ <input type="text"/> 年 <input type="text"/> カ月</p>	<b>質問E</b> <p>これまで最も長くお酒をやめていた期間は、何年何ヶ月ですか。下の□に数字を記入してください。やめたことがない方は、0(ゼロ)とご記入ください。</p> <p>断酒期間→ <input type="text"/> 年 <input type="text"/> カ月</p>

## 新型コロナ流行下での、あなたの心と身体の健康状態についておたずねします。

15) 現在のあなたの身体の調子は、新型コロナウィルス感染拡大前(2020年1月頃)と比べて、どうですか？ 当てはまる番号いずれか1つに○をつけてください。

1. 変化なし      3. 良くなつた  
 2. 悪くなつた

→2.を選んだ方のみ回答

新型コロナウィルス感染拡大前と比べ、具体的にどのように身体の調子が悪くなりましたか？

当てはまる番号全てに○をつけてください。

1. 腰痛、肩こり      2. 持病の症状悪化      3. だるさ      4. 頭痛  
 5. 足の痛み      6. 胃の調子が悪くなつた      7. 便秘      8. 動悸や息切れ  
 9. その他 具体的に: \_\_\_\_\_)

16) 過去30日の間にどれくらいの頻度で以下のことがありましたか。下記の①～⑥の質問について、最も適当と思われる数字(0.全くない～4.いつも)から1つ選んで○をつけてください。

番号	質問	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
①	神経過敏に感じましたか……………	0	1	2	3	4
②	絶望的だと感じましたか……………	0	1	2	3	4
③	そわそわ、落ち着かなく感じましたか……	0	1	2	3	4
④	気分が沈み込んで、何か起こっても気が晴れないように感じましたか……………	0	1	2	3	4
⑤	何をするのも骨折りだと感じましたか……	0	1	2	3	4
⑥	自分は価値のない人間だと感じましたか…	0	1	2	3	4

別添 調査表

17) この2週間、次のような問題にどのくらい頻繁(ひんぱん)に悩まされていますか？

下の①～⑦の質問それぞれについて、最もよくあてはまる番号

(0.全くない、1.週に数日、2.週の半分以上、3.ほとんど毎日)の中から、一つ選んで、  
その数字に○をつけてください。

番号	質問	全くない	週に数日	週の半分以上	ほとんど毎日
①	緊張感、不安感または神経過敏を感じる…………	0	1	2	3
②	心配することを止められない、 または 心配をコントロールできない…………	0	1	2	3
③	いろいろなことを心配しすぎる…………	0	1	2	3
④	くつろぐことが難しい…………	0	1	2	3
⑤	じっとしていることができないほど落ち着かない…	0	1	2	3
⑥	いらいらしがちであり、怒りっぽい…………	0	1	2	3
⑦	何か恐ろしいことがおこるのではないかと恐れを感じる…………	0	1	2	3

⑧ あなたがこの表の、いずれかの問題に1つでも「週に数日」「週の半分以上」「ほとんど毎日」にチェックしているなら、それらの問題によって仕事をしたり、家事をしたり、他の人と仲良くやっていくことがどのくらい困難になっていますか？当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※すべての質問で「全くない:0」を選んだ場合は、質問18)へ進む

0. 全く困難でない
1. やや困難
2. 困難
3. 極端に困難

質問は次のページに続きます。

新型コロナ感染拡大後の断酒会活動や生活の様子についておたずねします。

18) 新型コロナ感染拡大後(令和2年2月頃)から現在(令和2年6月末)までの期間、

あなたは通常の例会集会(1つの会場に集まって酒害体験を語る)に参加しましたか？

あなたの状況に最も近い番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 全く参加しなかった
2. いつもより参加頻度が減った
3. いつも通り参加した
4. もともと例会には参加していない
5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

19) 新型コロナ感染拡大後(令和2年2月頃)から現在(令和2年6月末)までの期間、あなたの地域で、利用(参加)することのできる例会集会の会場はありましたか？1つ選んで○をつけてください。

1. 新型コロナの影響で、利用できる会場はなかった
2. 新型コロナの影響はあったが、一部の期間、利用できる会場があった
3. あてはまるものはない

20) 例会が中止の期間、あなたは通常の例会集会以外の断酒を目的とした活動(オンライン集会や、メールやLINEを使った交流会、野外での集会など)に参加しましたか？1つ選んで○をつけてください。

1. 参加した
2. 参加しなかった
3. わからない

21) 例会が中止の期間、あなたが困っていたことについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

1. 断酒会の仲間と会えずさびしい
2. 断酒会の仲間の飲酒状況や、安否が気がかりである
3. 断酒会の仲間と会えず、相談できない
4. 飲酒してしまいそうで不安
5. 孤立や孤独を感じる
6. 生活に張りを感じられない
7. ストレス解消ができない
8. 特に困らなかった
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

## 別添 調査表

22) 例会が中止の期間、あなたは、自分や仲間の断酒継続のため、通常の例会集会の代わりになることをしましたか？ あてはまる番号を全て選んで○をつけてください。

1. 野外での集会を開いた
2. 少人数で集まって話をした
3. オンラインでの集会を開いた
4. LINE や、SNS、E メールなどを使って、文章でやり取りした
5. 電話(アプリの音声通話機能含む)で会話をした
6. 特に何もしなかった
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

23) 緊急事態宣言発令中のあなたの生活は、どのようにでしたか？

以下の①～⑫の活動について新型コロナ感染拡大前(令和2年1月頃)と現在(令和2年6月)を比べ、「増えた」、「減った」、「変化なし」から、あなたの状況に当てはまるものを、1つ選んで○をつけてください。

番号	生活に関する項目	最も当てはまるものを1つ選んで○をつける		
①	趣味や娯楽、レクレーションに費やす時間	増えた	減った	変化なし
②	病院やクリニックへの通院回数	増えた	減った	変化なし
③	散歩やスポーツなどの運動する機会	増えた	減った	変化なし
④	友人・知人(断酒会の仲間も含む)との交流	増えた	減った	変化なし
⑤	新聞雑誌の閲覧や読書をする時間	増えた	減った	変化なし
⑥	仕事や通勤に費やす時間	増えた	減った	変化なし
⑦	睡眠時間	増えた	減った	変化なし
⑧	家族との交流	増えた	減った	変化なし
⑨	掃除、洗濯など家事をする時間	増えた	減った	変化なし
⑩	TV やインターネットなど動画視聴時間	増えた	減った	変化なし
⑪	ゲームをする時間や頻度	増えた	減った	変化なし
⑫	何もすることのない暇な時間	増えた	減った	変化なし

質問は裏のページに続きます。

別添 調査表

24) 感染症の流行による緊急事態や、従来の方法での自助会開催が困難な時に、アルコール問題を抱える人や、その家族を支えるために、必要だと思う支援や、あつたら助かると思う施策など、あなたのお考えやご意見を下の枠の中に、ご自由にお書きください。



アンケートはこれで終わりです。 記入もれはありませんか？

お早めのご返送をお待ちしております。

ご協力ありがとうございました。

【研究代表者】

松下 幸生 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

【分担研究者】

新田 千枝 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

【研究協力者】

大槻 元 公益社団法人 全日本断酒連盟

伊藤 聰 公益社団法人 全日本断酒連盟

小砂哲太郎 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

遠山 朋海 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

真栄里 仁 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

柴崎 萌未 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

樋口 進 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

※本報告書に掲載されたデータを引用・転載する場合には出典の表記をお願いいたします。

【新田千枝、松下幸生；令和2年度 依存症対策全国拠点機関設置運営事業における依存症に関する調査研究事業  
「新型コロナウィルス感染症拡大が断酒会員に及ぼす影響に関する緊急調査報告書」、2021年。】

令和2年度 依存症対策全国拠点機関設置運営事業における  
依存症に関する調査研究事業

「新型コロナウィルス感染症拡大が断酒会員に及ぼす影響に関する緊急調査」報告書

発 行:2021年6月1日

編 集:依存症対策全国センター／

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比 5-3-1

照会先:046-848-1550 (久里浜医療センター 臨床研究部)